

D-RANS暗号システムの鍵を発行

Z

D-RANS ICカード発行

ICカードのメモリ領域に鍵を暗号化して格納します。

- ・セキュリティレベルに応じた階層別の鍵発行が可能で、1枚のICカードに個人キーを除いて最大36個の暗号キーを設定することが可能です。
- ・発行履歴管理により何時、誰が、どのようなICカード発行操作をしたのかトレースが可能です。カードの複製やキー発行ミス、カードの有効期限等を管理します。



商品構成

- ・プログラム
 - D-RANS ICカード発行
 - ・ハードウェア
 - ノートPC + OS [Windows2000]
 - SCD [Security Control Device]
 - ICカードリーダー/ライター[PCMCIA型]
 - ・発行機格納ケース
1. ノートPCに発行プログラムをセットした専用システムで、導入と共に発行作業を速やかに行えます。システムを専用ケースに保管することで発行システムの管理は万全です。
 2. ICカード発行プログラムとSCDのみの販売も可能です。

[注]D-RANSは株式会社ケンウッドから株式会社 CSPフロンティア研究所が商品及び開発権の譲渡を受けています。



D-RANS ICカード発行の特徴

ICカード発行システムはD-RANS[暗号化/復号化ソフトウェア]に対応した、各種の暗号鍵を生成してICカードに発行するシステムです。

商品は発行プログラム4種類とハードウェアのSCD[Security Control Device]とICカードリーダライタから構成されています。

SCDには暗号システムの主鍵情報が格納され、セキュリティ管理の要となっています。万が一SCDが盗まれ、主鍵情報を取り出そうとSCDのケースを分解した場合、瞬時にすべての情報がクリアされ二度と回復することは出来ないように設計されていますので安心です。

SCDが発行プログラムと管理者パスワードと共に盗難にあった場合でも物理鍵が盗まれなければカード発行を行うことが出来ないように、二重三重の安全が考慮されています。

発行システムプログラムは完全ですが、運用には①SCD設定A管理者、②SCD設定B管理者、③ICカード発行者の3者を事前に任命して、3者の役割を明確にしてシステムの運用を行うことで、人為的セキュリティホールへの対策も万全です。

セキュリティレベルに応じた階層別の鍵発行が可能で、1枚のICカードに個人キーを除いて最大36個の暗号キーを設定することが可能です。

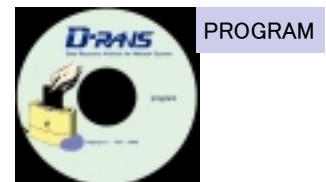
発行履歴管理により何時、誰が、どのようなICカード発行操作をしたのかトレースが可能です。カードの複製やキー発行ミス、カードの有効期限等を管理します。

ICカード発行システムの根幹となる主鍵の設定や管理手法のコンサルティングも行っております。販売会社にご相談ください。

商品構成

ICカード発行プログラム

- ・①SCD設定A管理者、②SCD設定B管理者、③ICカード発行管理、④IC Card Serviceの4つのプログラムから構成されています。
- ・対応OSはWindows98/ME、Windows2000[推奨]



SCD[Security Control Device]

- ・マスターキー[主鍵]を設定プログラムで暗号化して格納されています。
- ・PCのCOMポートに接続して使用します。
- ・ICカード発行には専用の発行プログラムがマスターキーを反映した各種の暗号キーを生成します。
- ・SCDには[A錠、B錠]2つの錠が付属しています。



ICカードリーダ/ライタ

- ・ICカードのメモリー領域にデータを書き込んだり、読み取ったりするハードウェアです。
- ・標準のPCMCIA型のほか、USB型やRS232C型のリーダ/ライタもあります。ご使用のPC環境によってお選びいただけます。



発行システム

- ・①発行プログラムをインストールしたPC、②SCD、接続ケーブル
- ・③取り扱い説明書、履歴ファイル雛型等を収納できるケース付き。
- ・ICカード発行プログラムとSCDのみの販売も可能です。



株式会社CSPフロンティア研究所

〒151-0073 東京都渋谷区笹塚3-2-3 CSPテクノプラザ

TEL 03-5304-4521
FAX 03-5304-4522
Email: info@csp-frontier.jp